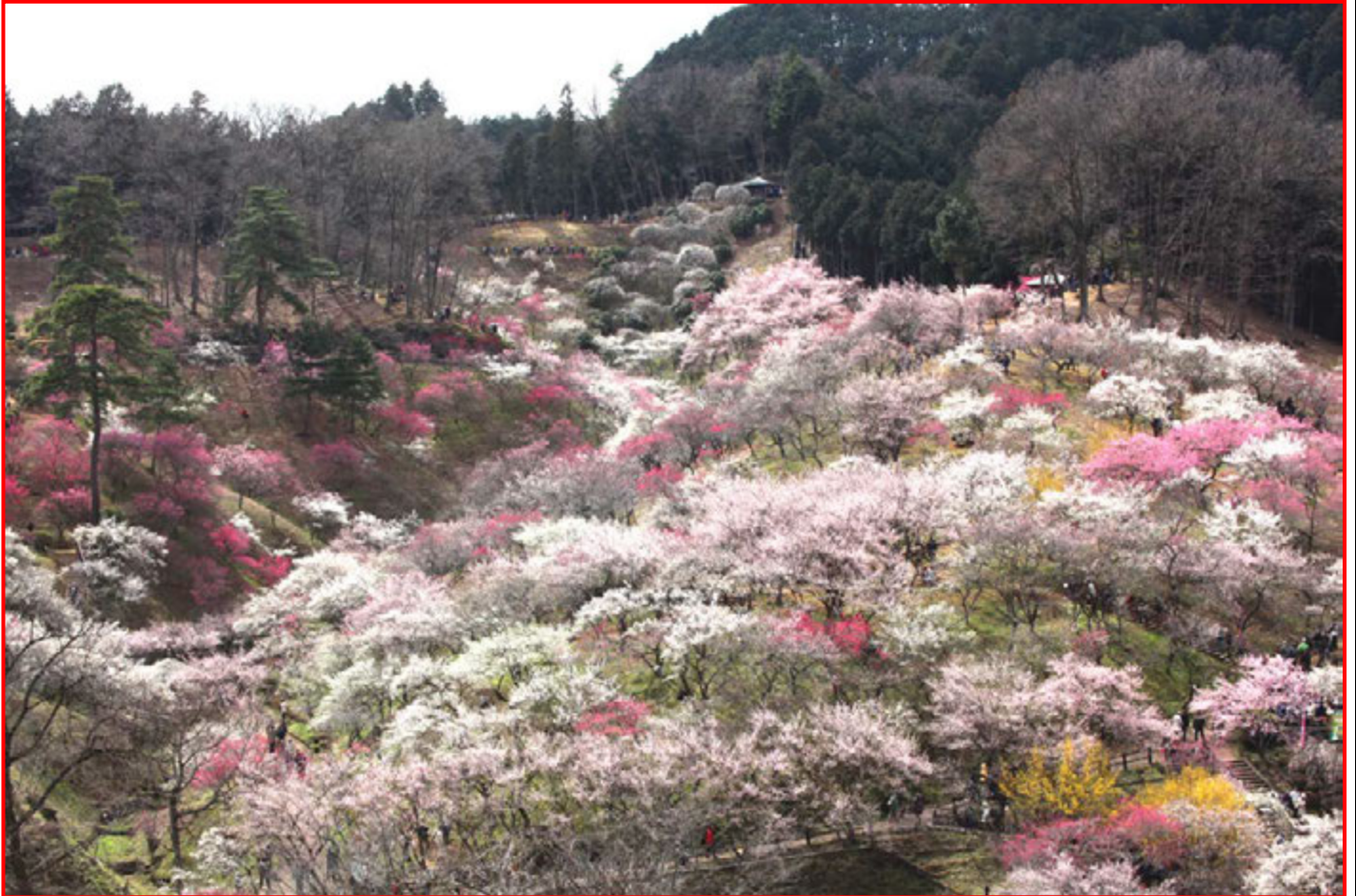


DigitalCamera倶楽部

FEB 2018
Vol.146

青梅梅園 その後



この写真は 2009 年に青梅の吉野梅郷の中にある青梅市梅の公園で撮影したものです。

この年にウメ輪紋ウィルスの感染が確認されて、年々感染が広がったために 2014 年に全部の梅の樹を伐採処理しました。公園のみならず周辺の梅栽培農家(この周辺全体を吉野梅郷)の樹も伐採することとなり、大変な打撃を受けました。

現在、園内には菜の花や福寿草、日本スイセン、ツツジ等が植栽され、春には、花の園として営業を再開しています。また、周辺農家も復興の為に多くの花を植えて、花まつり を企画しています。

近くにはツツジの名所 塩船観音 夏にはレンゲショウマの群生地がある 御岳山 などありますし、青梅市内には古い映画の看板での町おこしに取り組んでいます。

機会がありましたら、梅郷の復活の一助に訪れてみて下さい。

その他にも梅の名所は数多くあります。その内昨年秋に撮影会に行った、横浜の三溪園も有名な梅の見どころです。

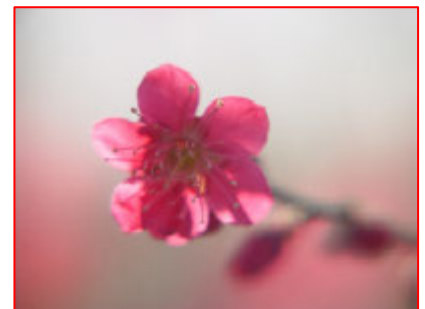
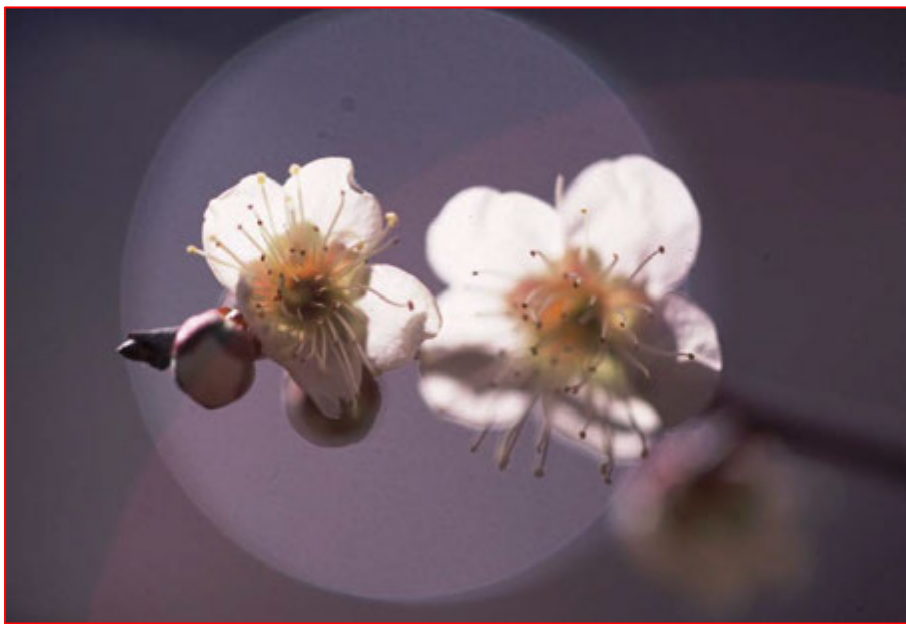
梅の撮影は、花が白または紅が殆どです。アップで撮る場合はなるべく、紅白の花があるところで、白をバックにしたり、紅をバックにしたりすると雰囲気が出せると思います。

小枝の多いことも特徴の一つですが、小枝を背景に入れてボケ味を出すと所謂 線ボケ となって目障りな場合があります。

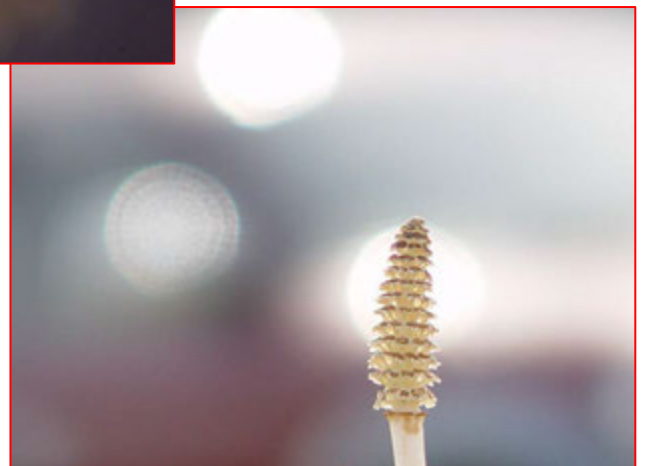
梅の幹や太い枝は 黒 いので、画面に収める位置を十分に考えましょう。

春を告げる花の一つですから、賑やかな雰囲気に仕上げるのが、良いと思います。

光っている、(日光を反射している)ものを探して、その光の中に花が来るように、自分の位置を決めて撮影します。



春はもうそこまで来ています



吉川のページ

メタセコイア並木



帝人アカデミー富士

富士の裾野にある帝人
研修所の入口です



愛川ふれあいの村

愛川のメタセコイア並木



帝人アカデミー富士

霜柱草（雪寄草）

寒い朝が楽しみです、今日は何センチ



あつぎ大道芸

宇宙人が見学に来ました

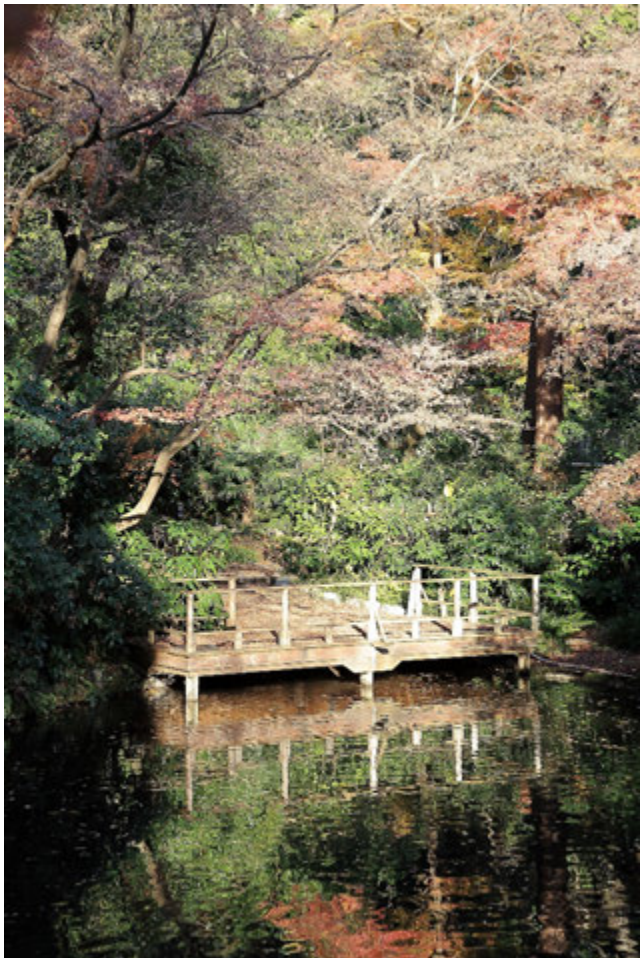
人間とは思えない芸にビックリ



鈴木義則 のページ

鎌倉建長寺と初春の花

建長寺奥にある半蔵坊
への階段前、重なり合っ
た木々の紅葉が見事



回春院にあるひっそりとした小池、湖
面への写りも落ち着いている

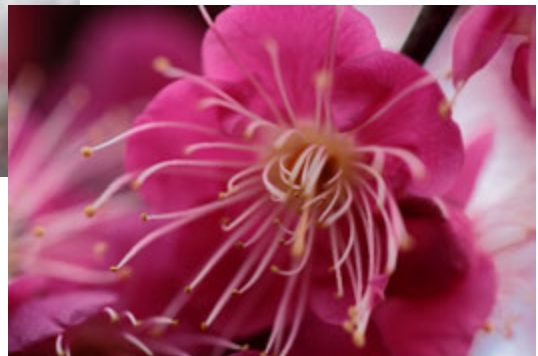


あまりにも有名な山門を裏手から見る、
禅寺を示す無塗装の木組みは一見物

寒空に咲く黄梅、色と
香りは春を告げる



相模原北公園の寒紅梅、整理さ
れない枝に咲く花もまた良い



同じ庭園の白梅、こちら
もあまり手入れされない
雑然さが良い



鈴木瑠美子 のページ

横浜三溪園の師走

冬の日差しが南門前の日中友好庭園を柔らかく照らす



立ち木越しに臨春閣を望む、定番の景色ながらすばらしい



南門を入ったすぐにある木立の中にあった人面、自然にできたとは思えない



冬の低い日差しがさす廊下は暖かそうで、昔の自宅を思い出させる

猫たちも日光浴に余念がない

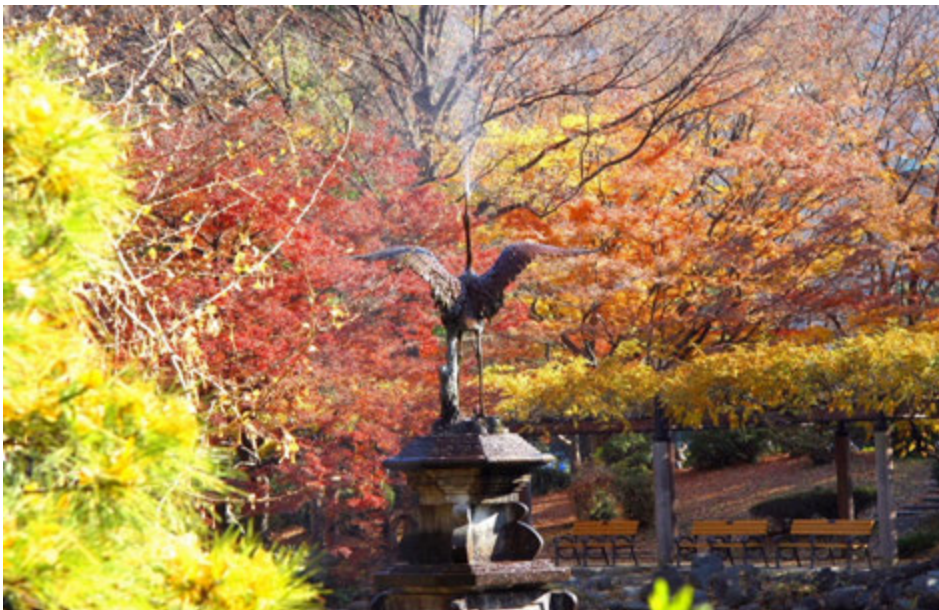


藤も葉と房が色づき、冬支度が進んでいる

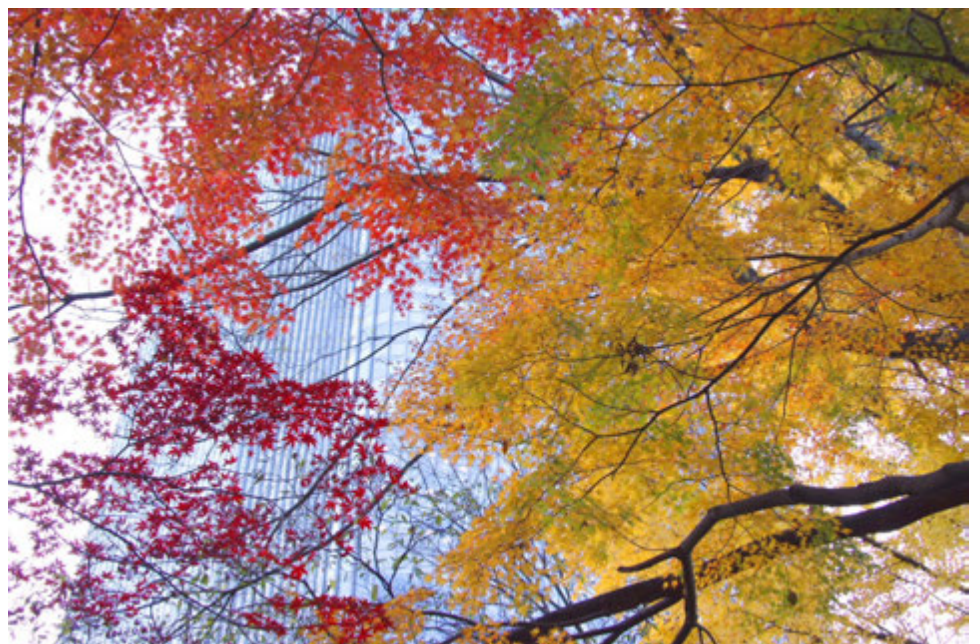
佐藤重信の ページ

12/7

紅葉の日比谷公園
静寂が漂う



高層ビルに調和



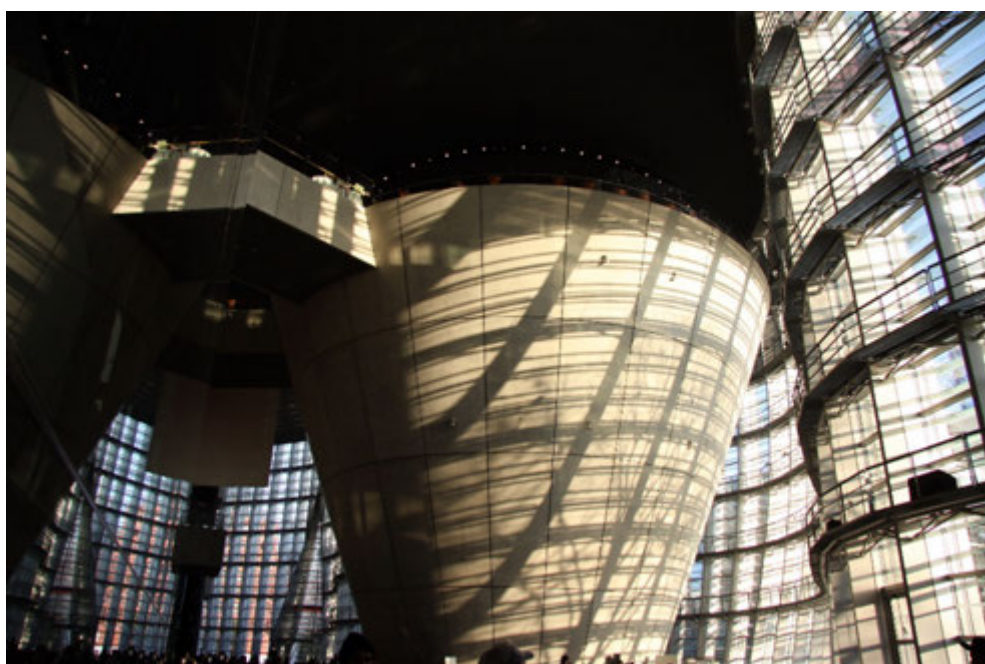
皇居 ^{いぬい} 乾 通りが一般公開 東御苑の本丸で江戸城を想う



黒川紀章設計によるユニークな
「国立新美術館」六本木

陽が傾く頃、特長が際立つ

室内でも圧倒される



笹原虎夫のページ

三溪園撮影会季節の装い



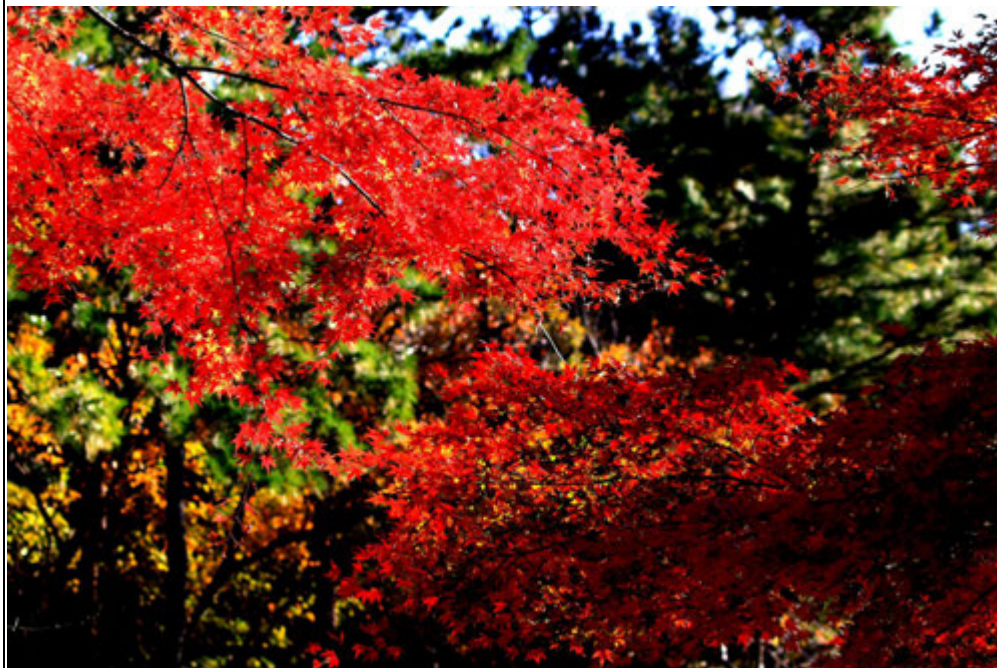
臨春閣紅葉

聴秋閣



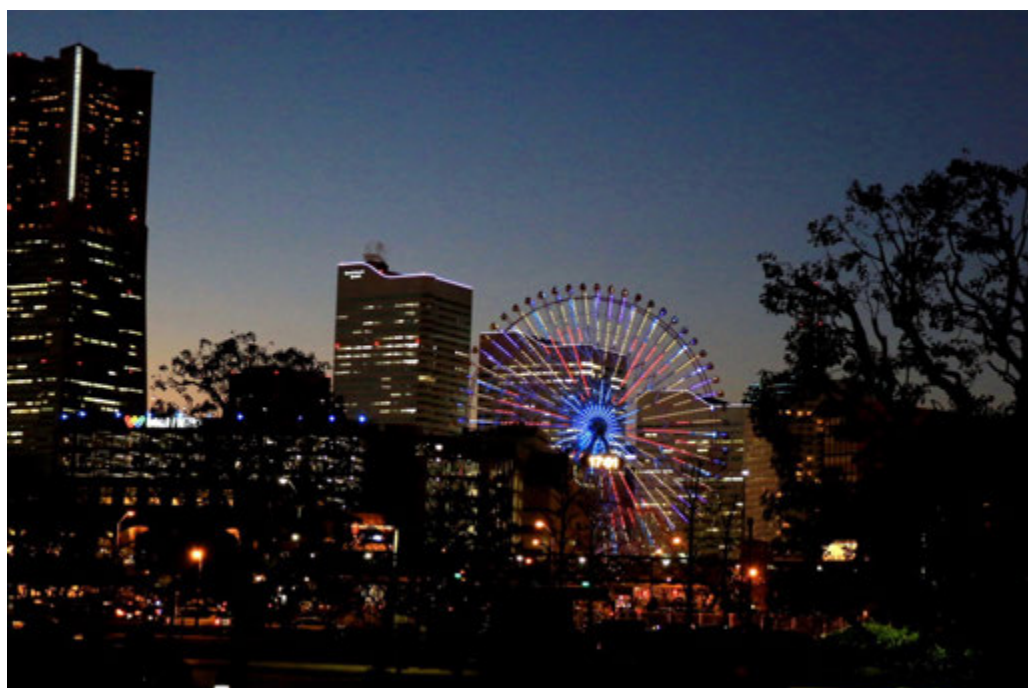
上海横浜友好園





南門のモミジ♀

絵を描く人



横浜夜景

大川のページ



棟岩院に大きな門松が立っていました

鹿屋航空基地



鹿児島県曾於市の与五郎どん祭り



別府 30 - 01 月ページ



アンコールワット



アンコールトム バイヨン寺院



↑ バンデアイ・スレイ

↓ タ・プロム寺院

